



原 成兆 議員 (自民新国会)

町民と共にあゆむまちづくりを

町長「協働宣言」の案を示す



10月8日に行われた「瑞穂町協働宣言」署名式

質問 町は、現在の財政運営について、非常に厳しい状況であると、様々な機会をとらえ発言している。

「そうした状況下において、今以上に、町民にできることは町民に協力を仰ぎ、財政負担の軽減を図るべきである。そこで町は、今後、個人や団体に対し、どのような協力を求めていく考えがあるのか、町長・教育長に問う。」

町長 今後の協働の展開では、9月議会の後で「瑞穂町協働宣言」の案を示すこととしている。これは協働のあり方や分野、行政の関わる範囲など、行政と町民が一緒になって考えるべきとの基本姿勢を示している。行政活動と住民活動の役割と範囲を明確にした上で、各種公共事業を行政以外に実施できるか、可能性をともに考えていく。行政、指定管理者制度、業務委託、NPO、ボランティアなど、最も適切な実施形態と有効性を検証し、進めていく。

モノレールの早期実現へ

委員会活動報告

— 武蔵村山市議会特別委員会と意見交換



意見交換会の様子 (武蔵村山市役所)

公共交通特別委員会

8月5日、公共交通特別委員会では、「モノレール箱根ヶ崎駅延伸の早期実現」に向け、武蔵村山市議会交通対策特別委員会との意見交換会を開催しました。

武蔵村山市では、鉄道の駅が一つもないということ、モノレールを呼ぼう！市民の会」を立ち上げ、都議会宛の請願署名や市内35箇所募金箱を設置するなど、活発な取り組みがなされており、いろいろと参考になりました。

今後とも、できることは、力を合わせて早期実現を目指していきたいと思えます。